

保育細目

馬場 定 一

お噺の本

子供に聞かせるお噺のいゝ本が今日は澤山にある。數年來此方傳説、仙人噺、神話等の如きものゝ興味が復活して來た様で、澤山の出版者が今尙之等の好ましきよく編纂されたものを出版して居るから、假令保姆が自分にこんな本を持つて居ない場合でも、其の優秀なものゝ二三はどんな地方の圖書館にでも備へ付けられて居る筈である。色々な型のお噺を戴せて居る本は普通圖書館にもあるし、又保姆が買ふにした所で買ひ得る範圍のものである。

お噺の時間は幼稚園の子供にとつては最も楽しい時間であり又さうなければならぬのであつて、保姆が子供の心に觸れる時であり、子供の想像を熾きつける時であり、又有益な暗示を與へ善い行に導く好機會である。更にかの仙人噺の、子供を惹きつける様な事件は子供に人生の理想を暗示すべき機會である。「昔々或處に」は何處の幼稚園の子供にも、その目に新しい光を與へる魔力を持つた言葉であるし、又そうならなければならぬのである。理想的なお噺は實に子供にとつては精神的にも道徳的にも強壯劑である。唯此の上は吾々はみんな自分の判斷と力とを以て之を如何に利用すべきかを知らん事を希ふものである。

茲に説話に關する參考書及幼稚園で使用ののに適當と認められるものを、簡單な目錄を擧げておく。ミス、ブライアント、Miss Bryant 及びミス、リンマン、Miss Lyman の兩氏は何れも説話者に有益な目錄を發表して居る。

參 考 書

Myths and Myth Makers—Fiske.

Curious Myths of the Middle Ages—Baring—Gould.

Origin and Meaning of Fairy—Tales—Bunce.

Classic Myths—Gayley.

The Moral Instruction of Children—Adler.

Stories to Tell to Children—Bryant.

How to Tell Stories to Children—Bryant.

Stories to Tell the Littlest Ones—Bryfant.

Story—Telling, What to Tell and How to Tell it—Lyman.

附 録

The Three Bears, the three Little Pigs, The Mouse That Lost its Tail, English Fairy—Tales—J. A. O. S.

The Little Red Hen, For the Children's Hour—Bailey and Lewis.

The Frog Prince, Diamonds and Tools—Grimm brothers.

Thumbking, Boston Collection.

Little Half Chick, The Ginger—Bread Man, For the Children's Hour—Bailey and Lewis.

Hansel and Gretel, German Popular Stories (This is not the traditional Hansel and Gretel, but an adaptation of Grimm's The Brother and Sister.)

The Proud Weather Vane, the Lion and the Mouse. Doré the Little Girl of the Lighthouse, Boston collection.

The Mother Stork, Kindergarten Review, September 1897.

The Bird's Nest, Kindergarten Review, April 809.

Rugbying, Best Stories to Tell to Children—Bryant.

The Crane Express, the Lost chicken, the thrifty Squirrel's (adapted), In the Children's World—Poulsson.

The Little Green worm, cat Tails and Other Tales—Howlston.

Stories of Brave Dogs, It Nicholas Magazine.

Tommy Tuckers Bun, the Wee Pumpkin, store of Mother Goos's Village—Bingham.

Yeeny—Ueeny, English Fairy Taled—Jacobs.

六、保姆と小學校教師

子供は四—五歳で幼稚園に這入り六歳で小學校の第一學年に進むものであるが、非常に稠密した町などでは、五歳で幼稚園に這入つたものが、園は狭し、小さい子は幼稚園に這入りたがるので室をあげる必要上五歳半で學校に追ひやられる場合もあるのである。

幼稚園は何をするのか

先づ第一の場合を考へて見ると幼児が幼稚園に這入つて其の躰から——かりにこの躰が承認せられた型のものとして——受けた所のものは何であるかといふと、社會生活の樂しさに自分を一層適應させるべき生活上の或る態度であつて、好ましき習慣の端緒、即ち禮儀、親切、思索、清潔、秩序、從順等が樹立せられ、そして未熟な子供の考相應な人生の理想が明かにされた事である。幼稚園に這入つてから一年乃至其以上も経てば、入園當時に較べると幾分か自制も出來、自信も出來たし、又其語彙は餘程増え、表現は豊富となり、自分の生活して居る世界や事物の關係に就ての考も聞く獲て居るのであつて、小學校へ持つて這入るべき澤山な仕入を得たわけである。かくなると小學校が待つて居る仕事には熱心で——其誘因は恐らく保姆が子供の前に置いて來たもので——幼稚園の子供らしい事柄には見向きもしないで、今は唯讀まんとし書かんとして居るのである。けれども子供としての一般の特徴に關してはほんの僅か許變化して居るに過ぎないので入園當時と同様に今も尙快活であり、自働的であり、活動性にみち、多く感情の支配を受け、其の生活は同情によりて制せられ、注意は集中力がやゝ發達して來たとは言ふものゝ依然微弱で殆んど全く無意識的であると云つて差支無い。

次に第二の場合はどうであるかといふと、幼稚園に這入つた子供は其の生活に由つて極僅かしか影響を受けて居ない。善良な習慣の樹立とか、自制、自信等の要素の發達とか云ふけれども、それは僅か五ヶ月足らずの期間では餘り短か過ぎるのである。子供が保姆の手に這入つてから、やつとこんな仕事の緒についたばかりなのに、それなり直ぐ小學校に追ひやられて仕舞ふので外國人の子供なら、言葉を改めたといふのが恐らく幼稚園で獲た最も著しいものだらう。併し一般に保姆の方面から見れば、各方面の改善なり發達は認める事が出來るけれども、之を受け繼ぐ所の小學校の先生には、其の根ざしが充分に深く無い爲めに殆んど認められ無い。不幸にして今日の幼稚園に這入つて、現在の右の如き保育を——保姆はこの方法には反對意見は持つて居るのだけでも、今保姆の手では之を變ずる事の出來ない——受けて居る子供は、其の家庭の環境に於て適當なそして幼児保育に必要な條件を缺いて居るのであつて、従つて特に幼稚園の全課程を必

要とするものである。

保母と小學校教師との共通の根據

茲に子供の躰と云ふ點に關する限に於ては、小學校の先生についての問題は保母についての問題と毫も異なる處は無いわけであつて、其の取扱ふ子供に變りは無く、唯その程度に於て異なるのみである。故に小學校教師が自分の仕事を讀書算の三つのものでなくそれ以上の或るものと見るならば、言ひ換へれば、躰を以てその仕事の全部と見るならば、現在自分の管理の下に來て居る子供が今日まで如何なる感化の下に慣されて來たものであるかに尠からぬ關係を有する事は保母と同様である。

漸次事實の認めらるゝ事

右の様な次第であるから、以前に學務當局が「小學校と幼稚園との間の溝に橋渡しすべき」移り替のクラスを設置する事の得策を論じて居たのも決して突飛な事では無い。然るに其の後のこの過渡的クラスに對する興味なり其の必要なりが聞えなくなつたのは何に基因するのであるか、之には二つの理由があると思ふ。この第一の理由は、今日幼稚園は既に教育上變態のものとは見られないで、教育的建設の礎と認めらるゝに至つた事であつて、その二は、一年生に這入つて來る子供に特有の訓練を施すべき理想が根本的に變化して來て従前の經驗とは全く關係の無い空氣の中に之等の子供を置かない様になつて來たからである。今日の小學校の中には猶澤山の舊式の型のものもあるけれ共、中には幼稚園と同様幼學年に於て相當に自由な空氣が與へられて居るものもあるのである。幼稚園作業の仲間入の主なるものは、子供の注意を惹き附ける所の手工、お噺、遊戯及對話劇の如きものであつて、場合に由つては、固定した机腰掛が動かされて、幼稚園の様に

自由なよく働く小さい人々の巢箱の如き感あらしむるものがある。或る師範學校の如きは保母養成科は保母及小學校教員養成科に改められ、小學校教育、幼稚園保育何れにも適した教育を授ける様になつて居る。之は全く幼稚園と小學校との兩方が其の仕事と目的とに於て一致せる事を評價せるものに外ならぬのである。

小學校に於て教養せらるゝ各個人は、幼稚園に於て保育せらるゝものと別個の生物では無いといふ事を前提とし、又其の適用せらるゝ手段は幼稚園の仕事から分離せらる可き性質のもので無く、寧ろ其の擴張であり、之より發達すべきものなる事及其の理想とし目的とする所は等しく兒童の幸福と發育とにある事を前提として見る時は、保母と教師との間には親密なる兄弟の如き關係の存すべきものなる事は火を賭るより明かな事である。けれどもこの事が以前には決して當然の事では無くして寧ろ例外であつた事は正直に容れなければならぬ所である。然るに其が今日幸福にも漸次普通の事として認められる様になりつゝあるといふ事は、幸福なる時代の將に來らんとする心地よき前兆の一に計へなければならぬ。

その遅延の理由

併し乍ら、何故に此の非常に囑望せられて居る保母と教師との協力が、今日までかくも遅延されたのであらうか。何故そこに困難が横はつて居るのであらうか。この困難の根源こそは幼稚園保育及小學校教育の當事者の態度に存するものなる事は疑ふ餘地の無い所である。從來の小學校には、機械的慣例を強情に固執し、明かに幼稚園に對して敬意を持つて居た教師の一階級があつたのである。この人達は頑固にして自ら傲然と構へて近よるべからざるものであつたが、幸にもかゝる手輩は漸次教育界から其の影を潛めつゝあるのである。又中には之に反して、快活にして理解あり、高き理想によつて動かされ、自分の取扱ふ子供をよくする事に就ては、其の兄弟たる保母に劣らぬ熱心を以て滿されたるものもある。其の多くは自分の業務に對する教養も準備も保母と同様に之を受け、或るものは恐らく保母以上に之を受けて居るものも

ある。彼等はいつでも喜んで保母と協力すべき心持で居り、又子供に對する仕事を更に一層有效ならしむべき計畫は如何なるものでも受け入るべき考を持つて居るのである。所が此の心持で或る所まで進んで行つて見ると、如何せん案外、保母の無關心な態度——小學校の要求や仕事に對して無關心な態度に遭遇する事の多きに驚くのである。兩者の間に立派な協力の行はれて居る好例も澤山にあるが、又之に反して協力は愚、兩者の間に何等興味の無い場合も尠く無いのである。

教師の中には、自分に負はせられた義務を果す上に、幼稚園に於ける教養の力より以上立派に之を果さんがために、自分の仕事に對して熱心と熱狂とを以て満たされ、其の仕事の興味の爲にはいつでも自己と時とを犠牲にする覺悟を持つて居り、自分自身の生長のために熱心な一群のある事を知らなかつた事は事實である。多くの都市に於ける幼稚園聯合はかゝる婦人團體を勵ます所の専門的精神たる事を證明するものである。かう云ふ婦人達は講演を聞く爲めに進んで自分の金を使ひ、又意見を交換し、問題を研究するためには喜んで會合に出席するのである。かくの如く激勵せられて居る婦人の團體に接觸して行く事は向上の念を起さしめその精神を活動せしむるものである。すべてかくの如く立派であるに拘はらず、やゝもすれば幼稚園の保母として孤立した種類のものとなり、自分にすぐ接して居る隣人の興味を排除して、自分丈の特殊の興味の中に没頭してしまふ傾向がありはせぬかと心配するのである。さうなると、小學校の先生の要求に對しては無關心となり、更に場合に由つては——私としてはこれを認める事を好まないものであるが——自分はその兄弟たる小學校の先生とは其の質に於て根本から異つて居るものであるかの如き考を持つて、自分の優越について傲慢な感を抱くに於るものでもある。最も公平な判斷を持つてするならば、幼稚園にも小學校にも、立派に教育を受けた、役に立つ婦人が居るのだといふ事は誰でも承認しなければならぬと同時に又不幸にも其の反對即ち、ちつとも役に立たない、貧弱な、淺薄な婦人も亦この兩階級に見出されるものであるといふ事を認めなければならぬ。自分自ら勝れて居るものとして已惚れる事は慥かに賢い事では無く又さうあるべき事で無いので、それはそうしなくとも、その人の行と仕事とが、其の人の勝

れて居ると否とを説明して呉れるものである。

相互補助の利益

保母は其の兄弟たる小學校の先生と親密に相互助け合ふ結果獲る所は澤山あつても決して損失を受ける様な事は無い筈である。保母が子供と共に一年乃至二年の歳月を費す事は要するに子供がその缺陷に打克つて不良な習慣を除いて其の代りに良習慣を植付けん事に力むるため、言ひ換へれば、いつか立派な品性に發達して行く可き種子を蒔く爲めである。然るにかゝる子供を、保母の手から離して而も唯單に偶然の知己に過ぎない、そして子供の躰に關して果して如何なる理想を持つて居るかも知ら無い、且つ恐らくは子供のあらゆる方面の發達に關して更に興味を持つて居まいと思つて居る學校の先生に托するのだと考へる事は心のすままない事に違無い。又自分の費した時間なり勞力なりが終に全く徒勞に歸して終ふのだと考へる事も恐ろしい事である。又子供の喜びや悲しみは保母にとつては試に親しみのものとなつて來て居るのであり、其の誠に小さないぢらしい希望がどれ程か保母の心を刺戟して來たものであり、又その子供が爲には少しでも良い行良い生活の方へと其の歩みを辿つて來たものであるから、これ等の子供は保母の心には實になつかしく慕はしいものとなつて居るのである。小學校の先生及び其の仕事は保母にとつては殆んど知らない所でありそして小學校そのものは、自分のすぐお隣であるに拘はらず全く未知の邦である。

之に反して、小學校の先生と兄弟の様な親密な關係を保つて生活して來た保母ならば、これまで非常な忍耐と倦むことなき氣力とを持つて努力して來た自分の仕事の結果がどうなつて行くかに就ては少しも心配する必要は無く、又は少くとも殆んど氣に懸らない位である。そして兩者の交渉は相互の了解を得る事が出來、相互の助となつて行くのである。之に由つて保母は、小學校の先生は幼稚園に這入らなかつた子供に較べると、幼稚園保育を受けた子供は正に優つて居ること

を發見して居るのだといふ事を知る事が出来る許で無く、先生の眼にうつゝて來た躰上の缺點を知つて自分の今後の參考にして行く事が出来るわけである。又其の先生の仕事なり理想なりをも幾分かわかる様になり、自分に反對の意見も見出し、従つて自分自ら學校を訪ねて、學校で行はれて居る實際を知る機會をもとめて、自分自身の心靈の擴大を圖る事が出来るのである。

又學校の先生の方では、幼稚園の躰の理想や目的を一層よく知る様になつて來るのであつて、今に自分の教室に這入つて來る子供に關して其の大體を知り、保姆が子供の爲に毎日試みて來た總て、及び子供の爲に望み又恐れて居た總てを知り、かくして保姆の築いた基礎の上に建設すべき一層よき準備をする事が出來、そして、機を見て、兩者は相互に相談をする事も出来るのである。かくなれば保姆は小學校は自分の自由になつて、今まで非常に努力し最も深い同情を以て働いて來た小さい子供は最早や其の手から失はれる事は無く、今尙ほ其の兄弟たる小學校の先生と相共に、未だ奮である子供の日に日に發達して行く其の生活を眺める事が出来るのである。幼稚園保育を直ちに價値あらしめ、子供を教へる事をし、て無駄ならしめないのは正にこゝに存するのである。

故に私は、既に仕事に従事して居る保姆も、乃至は又これから仕事に就かんとする保姆も、小學校の先生との間に心からの關係聯絡を立てる様に企てる事は焦眉の急務であると思ふのである。それには先づ自分自身で小學校殊に幼學年の仕事及其の要求に親しむ様にすがいと思ふ。自分の仕事の理想や方針を學校の先生に了解せられる様にすることが好い。又學校の先生を幼稚園の母の會に招き、學校の方で要求するなら學校の母姉會の援助もして、一年もたてば年の終りに大なる父の會に連繋をつける様になれば此上ない事である。それから雨風の日などで子供の出席の少い時などには、近頃諸所でよくやつて居る様に、來て居る子供をつれて一年生を訪ねてやると好い。それは朝の體操の時間でも、又朝の遊戲と一緒に這入つてやつてもかまはない。そうすれば、自分の仕事に對して學校の先生の興味と同情とを引き入れる事が出来る

ばかりでなく、子供にも喜びを與へ、そして、兩方を結び付ける鎖を強くして行く事に助となるものである。要するに、學校の先生と自分自身との間に有益にして且つ生きた交渉を發達させる機會を注意深く見て居れば好いのである。

この事はいつでも容易く出來るといふわけにはいかぬかも知れ無い。場合に由つては機械的の型を以て投げつけられる様な不幸に遭遇したり、全く無關心であつたり、又は敵意をさへ持たれる事があるかも知れない。學校の先生の中には幼稚園の如何なる興味にも説服され得ない人や、幼稚園の理想を納得する事の出來ない人もあるが、これは極僅少である。中途までしか行かれない場合が随分度々あるだらうが、遂には協力を喜んでくれる様になるだらう、いつか先生との友情を得べき日あるを信じて其の機會をつかまへる事に努めよ、忍耐と氣轉と同情とを以て。但し同情は心より湧き出づるものたるべく、容易に見破られて恨みを買ふ様な虚装ではいけない事を心に銘じておくことが肝要である。

かゝる關係の如何に相互に助けとなり又利益となるかは之れに對して十分に經驗をした人のみの諒解し得る所である。これは保姆の仕事を擴大し、實行の上には刺戟となり矯正となり、子供に對しては發達と幸福のために最も確實に働く様に反應するものであると信じよ。かゝる訓練を受けた多くの保姆を以て仕事をすべき實現の日は遠くあるまい。親切なる運命の神よ、かゝる都合よき日を一日も早く來らしめよ。(完)

謹賀新年

日本幼稚園協會
幼児の教育編輯部